

アメリカ合衆国  
ジョー・バイデン大統領 閣下

駐日アメリカ合衆国大使館  
ラーム・エマニュエル大使 閣下

## 抗議文

貴国が今月14日にネバダ州の核実験場で臨界前核実験を実施したとの報道に接した。

イスラエル・パレスチナ情勢によって世界はますます混迷を極め、戦禍により多くの人々の命や日常が奪われている中で、貴国が臨界前核実験を行ったことは、核戦力の近代化を推進しようとする強い意志の表明であると考えます。

この行為は、被爆者をはじめ核兵器廃絶を求める多くの人々の願いに背く行為として、断じて許すことはできません。

我孫子市は、1945年8月の惨禍を二度と繰り返さないため、平和都市を宣言し、市民とともに平和事業に地道に取り組んできた。また、被爆地ヒロシマ・ナガサキ及び世界の8,300を超える都市が加盟する平和首長会議の一員でもある。

貴国には、一発の原子爆弾がもたらした被爆の実相と被爆者の体験を深く理解し、私たちの平和を願う心を重く受け止め、「核兵器のない世界」を目指した理性に基づく努力がなされることを強く求める。

2024年5月21日

日本国千葉県  
我孫子市長 星野 順一郎